

■関連イベント

「フレズレットを作ろう」
植物ビーズの魅力」

自然素材のビーズのお話のあと、実際にフレズレットを作ります。
日時 3月11日(土)
13時15分～15時(13時受付)

会場 万博記念公園 自然観察学習館
講師 池谷和信(本館教授)
申込期間 2月9日(木)～2月23日(木)

※要事前申込、要参加費(材料費・保険代として300円)、定員40組、小学生以下要保護者同伴、雨天決行
お申込み・お問い合わせ先
自然観察学習館(開館10時～16時水曜休館)
06・6877・6923

■関連イベント

「研究公演」城山虎舞 in みんなく」
日時 3月19日(日)
14時～16時10分(13時20分開場)

会場 本館講堂(定員450名)
※要事前申込、参加無料(要展示観覧券)
申込締切3月1日(水)必着

みんなく映画会
第36回ワールドシネマ
「幸せのありか」
ポーランドが民主主義へと移行していく1980年代、知的障害があるが感受性の豊かな少年マテウシュが、自分の感情を家族に自由に伝えられないまま、さまざまな経験を通して成長していく様子をえがきます。

日時 2月11日(土・祝)
13時30分～16時30分(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
※入場整理券を当日11時から本館2階観覧券売場にて配布
公開講演会
「恵みの水、災いの水―川、湖、海―」
津波、水害、干ばつなどの水にかかわる災害への人の対応について研究や政策実践を行ってきた講演者が、恵(めぐ)みの水災(わざわい)の水という視点から、人と水との多様なかわりかたとこれからの課題を論じます。
日時 3月21日(火)
18時30分～20時45分(17時30分開場)
会場 オールホール
(大阪市北区梅田、定員480名)
講師 竹沢尚一郎(本館教授)
嘉田由紀子
(びわこ成蹊スポーツ大学学長)
主催 国立民族学博物館、毎日新聞社
※要事前申込、参加無料、手話通訳あり
お問い合わせ先
研究協力課 研究協力係
06・6878・8209

「展示キュレーションの誘惑」
「みんなく展示ツアー」
講師 吉田憲司(本館教授)
※要事前申込(定員30名、参加無料お問い合わせ先
企画課 博物館事業係
06・6878・8210

連続講座
「みんなく×ナレッジキャピタル」展示キュレーションの誘惑―新しいみんなくの展示ができるまで―
本館の研究者が、展示という作業の醍醐味と魅力についてお話しし、展示キュレーションの世界へ誘います。第7回は、みんなく展示場で展示ツアーをおこないます。
日時 2月4日(土)13時30分～15時
会場 本館展示場
主催 国立民族学博物館
一般社団法人ナレッジキャピタル
展示キュレーションの誘惑
「みんなく展示ツアー」
講師 吉田憲司(本館教授)
※要事前申込(定員30名、参加無料お問い合わせ先
企画課 博物館事業係
06・6878・8210

みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」
目で読む文字から手で読む文字へ、点字で異文化コミュニケーション・点字体験ワークショップを開催します。
日時 2月11日(土・祝)12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料
●本館展示場の一部閉鎖について
本館展示場の一部改修のため、朝鮮半島の文化、中国地域の文化、中央・北アジア、アイヌの文化及び日本の文化の各展示場を、2月22日(水)から3月22日(水)まで閉鎖いたします。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。



開館40周年記念特別展
「ビーズ―つなぐ・かざる・みせる」
飾り玉、数珠玉、トンボ玉などを総称するビーズ。本展示では、私たち人類が作り出した最高の傑作の一つとしてビーズをとりあげ、つくる楽しみ、飾る楽しみをおして日本や世界の人びとにとつてのビーズの魅力を紹介いたします。
会期 3月9日(木)～6月6日(火)
会場 特別展示館



大槌まつりの手踊り隊

企画展
「津波を越えて生きる」
大槌町の奮闘の記録」
岩手県大槌町の被災前の文化を紹介すると同時に、被災直後の人びとの行動や復旧の試みを展示の形でたどりま。将来起こりうる大規模災害に対する備えの必要性を示し、災害を乗り越えて過去から未来へと文化や伝統をつなぐことの意義を考えます。
会期 4月11日(火)まで
会場 本館企画展示場

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第465回 2月18日(土)
津波を越えて生きる―大槌町の奮闘の記録
講師 竹沢尚一郎(本館教授)



祭りの熱気は昔も今も変わらない

企画展「津波を越えて生きる―大槌町の奮闘の記録」に関連し、被災地のひとつである岩手県大槌町に焦点を当て、被災前のまちな姿と、被災直後のまちな風景、そして被災直後から半年間、まちの各地で実現された人びとの助け合いの様子を紹介いたします。

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と話そう

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。
2月5日(日)14時30分～15時30分
本館ナビひろば
アイヌの文化展示場
講師 齋藤玲子(本館准教授)

2月12日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば
博物館資料をソース「ミニミニ」で再会させる
講師 伊藤敦規(本館准教授)

2月19日(日)14時30分～15時30分
本館ナビひろば
アイヌの文化展示場
アイヌの信仰・儀礼
講師 北原次郎太
(本館特別客員教員/北海道大学 准教授)

2月26日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば
展示場のなかの資料を「まもる」
講師 園田直子(本館教授)

カレッジシアター

「地球探究紀行」

みんなく教員が執筆した臨川書店発行「フィールドワーク選書」を中心にお話しします。
時間 13時～14時30分
会場 あへのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円
共催 産経新聞社、近鉄文化サロン、スペース9
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
2月8日(水)
スリランカで運命論者になる
―仏教とカーストが生きたる島
講師 杉本良男(本館名誉教授)

2月22日(水)
ブタを連れて海を渡った人たち
―ミクロネシアの発掘調査から
講師 印東道子(本館教授)
お申し込み・問い合わせ先
ウエーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087

刊行物紹介

■大丸弘、高橋晴子 編

『日本人のすがたと暮らし』
―明治・大正・昭和前期の「身装」―



三元社 8,000円(税別)
日本人は舶来の品々・文化をどのように批判し、そして受け入れていったのか。新聞・雑誌記事、広告など、膨大な同時代資料によって、明治から敗戦までの日本人の日常を再現する。本館名誉教授の大丸弘と本館外来研究員である高橋晴子のみんなくにおける研究成果であり、本館ウェブサイトで公開中の身装画像データベース(近代日本の身装文化)に含まれる「参考ノート」をもとに刊行した。

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般5000円
第464回 3月4日(土)13時30分～14時40分
バキスタン北西部の異教徒、カラシヤ人
講師 吉岡乾(本館助教)

バキスタンの北西部、ヒンドークシ山脈の谷にひっそりと暮らしているカラシヤ人。かつて「黒い異教徒」とよばれていた彼らは、イスラーム教国のバキスタンにありながら、独自の多神教を信仰している人びとです。本講演会では、彼らのその宗教や、それに基づく生活のあり方、さらにその言語について、周辺民族との関わりや歴史的な背景などもふまえて、写真・映像を織り交ぜつつ紹介いたします。
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
第465回 4月1日(土)13時30分～14時40分
「特別展」ビーズ―つなぐ・かざる・みせる―関連
つなぐ・かざる・みせる
「ビーズにさぐる人類の多様な営み」
講師 池谷和信(本館教授)

※講演会終了後に講師の案内のもと、展示見学会をおこないます(40分)。
東京講演会
第117回 2月25日(土)13時30分～14時40分
異文化が交差する物語
―アラビアンナイトからのぞく中東世界―
講師 西尾哲夫(本館教授)
会場 モンベル御徒町店4Fサロン
9世紀に原型ができたといわれる、中東の文学アラビアンナイト。じつはこの物語、18世紀にヨーロッパ人に見出されるまで、中東ではさほど親しまれる存在ではありませんでした。ヨーロッパ人に「発見されたこの物語からは、中東に向けられたまなざし、そこに暮らす人びとの文化や信仰心、世界観を感じ取ることが出来ます。千一夜という大長編に至った経緯とともに、物語をとおして中東の人びとが育んできた価値観をさぐります。

※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般5000円